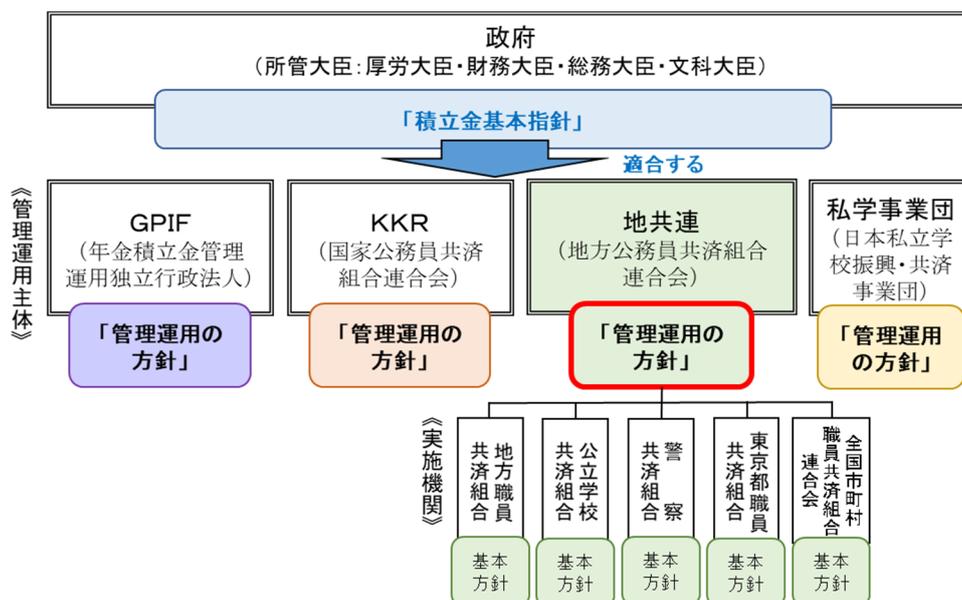


地共済における年金積立金の管理及び運用の状況について

1. 厚生年金積立金の運用の仕組み

- 年金積立金の運用は、専ら厚生年金保険の被保険者の利益のために、長期的な観点から、安全かつ効率的に行うこととされている。
- 全体の枠組みとしては、所管大臣（4大臣）が共同で「積立金基本指針」を策定し、この指針に適合するように各管理運用主体が「管理運用の方針」を策定している。
- また、地共済の場合、各実施機関が「基本方針」を策定し、年金積立金の管理・運用を行っている。



2. 基本ポートフォリオ

- 「管理運用の方針」において、基本ポートフォリオ（※）の資産構成割合及び許容乖離幅は次のとおり定められている。

※ 年金財政上必要となる実質的な運用利回りを最低限のリスクで確保するように定めた資産構成割合のこと

<令和2年度末の地共済の基本ポートフォリオ>

(単位：%)

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式
資産構成割合	25	25	25	25
許容乖離幅	±20	±12	±9	±11

(注) 短期資産は、国内債券に区分する。

<地共済の令和2年度末の管理積立金の資産構成割合>

(単位：%)

国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	合計
25.9	25.2	23.0	25.9	100.00

(注) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しない。

3. 令和2年度の地共済における厚生年金積立金の運用の状況

- 地共済が管理・運用する年金積立金の令和2年度の運用実績は、収益率23.81%（収益額4兆6,816億円）であった。
- 過去5年間（平成28年度～令和2年度）の実質的な運用利回りは5.73%である。
- 厚生年金の長期的な運用目標は1.7%であることから、地共済の過去5年間の運用実績は、長期的な運用目標を上回っており、年金財政上必要な運用利回りを確保している。

(1) 令和2年度の収益率及び収益額

	(単位：%)		(単位：億円)
	令和2年度		令和2年度
実現収益率	4.93	実現収益額	9,320
修正総合収益率	23.81	総合収益額	46,816

(注1) 実現収益率は収益率(簿価)、修正総合収益率は収益率(時価)、実現収益額は収益額(簿価)、総合収益額は収益額(時価)である。

(注2) 収益率及び収益額は運用手数料控除後のものである。

(2) 令和2年度末の運用資産額

	令和2年度末		
	簿価	時価	評価損益
運用資産額	196,315	241,401	45,086

【参考】被用者年金一元化後の地共済の厚生年金運用資産額（時価）の推移

